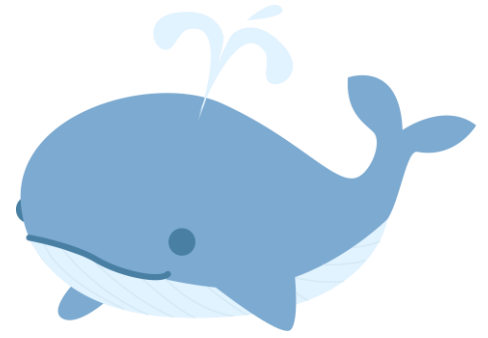


講演会



鯨類が目指す二つの道 ～付録：混迷化する国際捕鯨情勢～

講師：加藤 秀弘 氏（東京海洋大学教授）

日時：平成27年9月26日（土）14：00～15：30

場所：百年記念会館 大会議室（参加申込不要）

◇プロフィール



東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科 教授。鯨類学研究室担当。
1952年生まれ。1975年北海道大学水産学部水産増殖学科卒業後、同大学院水産学
学研究科、旧（財）鯨類研究所、水産庁遠洋水産研究所鯨類生態研究室室長等
を経て、2005年8月より現職。海洋環境学部門海洋生物学講座鯨類学研究室担当。
シロナガスクジラ等大型鯨類の資源生態を専門とし、とくに環境変動に伴う鯨
類の生活史変動と個体群調節機能の解明に取り組んできた。クロミンククジラ
の個体群動態研究で1999年度科学技術庁長官賞受賞。水産学博士。IWC科学委員
会委員および同委員会政府派遣首席科学者、IUCN鯨類専門グループ委員、PICES
海鳥海獣諮問委員会議長など歴任。主な著書に『ニタリクジラの自然誌』（第
11回高知出版学術賞受賞）『マッコウクジラの自然誌』、『鯨類資源の研究と
管理』、『鯨類資源の持続的利用は可能か』、『鯨類海産哺乳類学』など。尚、
SF小説『鯨の王』では主人公鯨類学者のモデルとなった。

○ 講演会終了後、同窓生との懇談会（30分程度）を開催する
予定です。

学生諸君は、貴重な話しが聞ける機会です。積極的にご参加ください。

◇会場案内図

